

## 21世紀の日本の地学教育

### The Japanese Earth Sciences Education in 21st Century

# 丸山 茂徳[1]

# Shigenori Maruyama[1]

[1] 東工大・理・地惑

[1] Earth and Planetary Sci., Tokyo Institute of Technology

21世紀の日本の地学教育を語る上で、21世紀が人類の歴史の中でどのような位置を占め、どのような特徴を持っているのか、考えておく必要がある。

21世紀は人類史の中で次のような時代になると考えることができる。

1. 物質文明が異常な発展を極めると同時に、成長が停滞する時代
2. 「世界人口の適正値への移行」と「地球化学環境の回復」という二つの克服すべき課題を抱えた時代
3. あらゆる問題が国内に閉じず、国際化する「ボーダレス」の時代
4. 膨大な知識、情報量に埋没して、問題の本質が見えにくい時代
5. 科学・技術の最前線の知識と市民一般の知識との乖離が異常に大きくなり、「啓蒙」がかつてないほどに重要になる時代
6. 生涯教育を含め、あらゆる教育現場でマスコミが主役となる「マスコミ帝国主義」の時代

このような認識に立って、社会科学の発展のために地学教育ができることは何か、地学はボーダレス科学の発展の「要」に成りうるのか等、21世紀の地学教育を考える。